

令和2年度 FD 活動まとめ

総合企画室

はじめに

近年本校では、大学教育再生加速プログラム（AP）において、学生の「主体的な学び」を促進するために、教員の講義力向上やシステム運用能力の向上に関する FD/SD 活動を実施してきました。また、グローバル高専専業やグローバルエンジニア育成事業では、グローバルなレベルでの教育の質保証システムの構築を目指し“青い鳥”グローバル教育プログラムの開発を行なっています。

これまで、これらのプログラムにおいて、CLIL 教材の開発やグローバル・コミュニケーション研修などを実施し、さらにこれらの活動を継続させつつ、新たな取り組みとして STEAM 教育に関する議論などを開始し、学内外の FD/SD への教職員の参加を推奨・支援してきました。

令和2年度は、特に、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、FD/SD 研修会の多くをオンラインで開催しました。

FD 活動リスト

（講師敬称略）

○学内教育関係 FD 活動

日程	研修名	内容・講師等
① 令和2年4月22日 午前 ② 令和2年4月22日 午後 ③ 令和2年4月23日 午前 ④ 令和2年4月23日 午後	Teams 講習（初級編）	徳山工業高等専門学校 機械電機工学科教授 張間 貴史 情報電子工学科准教授 宮崎 亮一 情報電子工学科准教授 室谷 英彰 他 有志教員
令和3年2月15日	高等教育の新常態とは？	熊本大学 教授システム学研究センター長 教授 鈴木 克明
令和3年2月18日	これからの STEAM の学びとは何か？ ～新しい学びの枠組みと実践から	岡山大学 学長特別補佐／ベネッセ教育 総合研究所 主席研究員 小村 俊平
令和3年3月25日	徳山高専は1年間でこれだけ ICT を活用 できるようになった	徳山工業高等専門学校 機械電機工学科教授 張間 貴史 情報電子工学科准教授 宮崎 亮一

○その他のFD活動

日程	研修名	内容・講師等
令和2年4月5日～ 令和2年4月30日	国立高等専門学校機構 コンプライアンス研修会	有限責任監査法人トーマツ 公認会計士 菅貞 秀太郎
令和2年9月3日～ 令和2年9月28日	令和2年度いじめ防止等研修会	鳴門教育大学大学院学校教育研究科 特命教授 阪根 健二 高専機構 理事 坪田 知広 学生総括参事 下田 貞幸
令和2年9月30日	令和2年度安心・安全の日研修会 新型コロナウイルス感染症について	周南市健康づくり推進課 保健師 手嶋 敬子
令和2年10月9日 令和2年10月14日 令和2年10月21日 令和2年10月28日 (オンデマンドあり)	遠隔授業の高度化に向けた授業設計研修会 (全4回)	第1回 放送大学 教授 中川 一史 第2～4回 ウチダ人材開発センタ 片野 俊行
令和2年10月27日～ 令和2年12月21日	令和2年度 教職員向け情報セキュリティ研修	高専機構 情報戦略推進本部 情報セキュリティ部門 松野 良信 (有明高専)
令和2年11月18日～ 令和2年12月24日	ハラスメント防止に関する研修	株式会社フォーブレーション 人事労務コンサルタント・社会保険労務士 有山 洋子
令和2年11月24日	令和2年度安心・安全の日研修会 メンタルヘルスについて	本校カウンセラー 名村 高美
令和2年11月27日 (オンデマンドあり)	法人文書管理研修	株式会社内田洋行 小島 英昭
令和2年12月18日 令和3年1月27日 (オンデマンドあり)	令和2年度全国高専著作権セミナー	一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会

○学外での FD 活動参加

日程	研修名	内容・講師等
令和 2 年 4 月 2 日～ 令和 3 年 3 月 26 日	国立情報学研究所シンポジウム（オンライン） 第 1～23 回「4 月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム」 第 24 回～「大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関するサイバーシンポジウム「教育機関 DX シンポ」」	(3/26 第 1 回) 4/2 第 2 回, 4/10 第 3 回, 4/17 第 4 回, 4/24 第 5 回, 5/1 第 6 回, 5/6 第 7 回, 5/15 第 8 回, 5/29 第 9 回, 6/5 第 10 回, 6/26 第 11 回, 7/10 第 12 回, 7/31 第 13 回, 8/21 第 14 回, 9/4 第 15 回, 9/11 第 16 回, 9/25 第 17 回, 10/9 第 18 回, 10/23 第 19 回, 11/6 第 20 回, 11/20 第 21 回, 12/11 第 22 回, 12/25 第 23 回, 1/14 第 24 回, 1/29 第 25 回, 2/12 第 26 回, 3/3 第 27 回, 3/19 第 28 回, 3/26 第 29 回
令和 2 年 5 月 30 日～ 令和 2 年 8 月 29 日	オンライン授業に関する JMOOC ワークショップ（オンライン）	(全 13 回のうち 12 回受講) 5/30 第 1 回「ネットワーク授業の隠れていた力を引き出す」 6/9 第 2 回「今、求められる新たな学び」 6/20 第 3 回「オンライン授業の実践から見えてきたこと」 6/20 第 4 回「初等中等教育を取り巻く ICT 環境」 6/30 第 5 回「ポストコロナ時代の e ラーニングシステムの在り方」 7/4 第 6 回「ポストコロナ禍時代の大学教育」 7/4 第 7 回「アクティブラーニングをオンライン授業で！」 7/25 第 9 回「成績評価と学習データの活用」 8/1 第 10 回「応急措置のリモート授業から質の高いオンライン教育へ」 8/8 第 11 回「海外大学のオンライン教育の取り組みとそこから学べる教訓」 8/18 第 12 回「ポストコロナ時代に問われる授業用コンテンツの共有と e ラーニングの進化」 第 13 回「IT 人材獲得と育成のグローバルイズム」
令和 2 年 6 月 13 日	第 23 回関西大学 FD フォーラム「遠隔授業のデザインを考える～人の縁を描く授業」（オンライン）	関西大学（山本，岩崎，多田，三浦），東京都立大学（松田），金沢大学（杉森），大阪大学（村上）
令和 2 年 7 月 8 日	第 1 回千葉大学アカデミック・リンクセミナー「メディア授業下における「学生のオンライン自己学習」」（オンライン）	千葉大学 國本千裕
令和 2 年 7 月 18 日	関西地区 FD 連絡協議会 講演会・シンポジウム「教学マネジメントとは何か？」（オンライン）	立命館大学 沖 裕貴
令和 2 年 7 月 31 日	名古屋大学教育の質保証セミナー「直接評価における教育の質保証－山形大学の事例－」（オンライン）	山形大学 安田淳一郎
令和 2 年 8 月 17 日	帝京大学オンライン授業のための FD セミナー「オンライン授業のための授業設計と成績評価」（オンライン）	帝京大学 宮原俊之

令和 2 年 8 月 25 日	先端教育機構 GIGA スクールフォーラム 「教育現場、実践に立ちほだかる 3 つの壁」 (オンライン)	東北大学 (堀田), ソニーマーケティング (真砂野), 東京書籍 (長谷部), 先端教育機構 (川山) 他
令和 2 年 8 月 30 日	リアセック I R フォーラム「変革する大学!」 (オンライン)	東京都公立大学法人 (吉武), 大阪工業大学 (椋平), 実践女子大学 (谷内)
令和 2 年 9 月 7 日	宮城大学カリキュラムセンター公開 F D 「学修者本位の学びの実現: 内部質保証基盤としての教学マネジメントシステム」 (オンライン)	お茶の水大学 半田智久
令和 2 年 9 月 17 日	大学 I R セミナー「大学マネジメントにおける危機管理と I R の役割」 (オンライン)	Tableau Software (鬼丸), 大正大学 (福島), アセスト (小森)
令和 2 年 10 月 7 日	(一般) 授業目的公衆送信補償金等管理協会「学校教育と著作権説明会」 (オンライン)	文化庁 (日比健一郎) 他
令和 2 年 10 月 17 日	朝日ネット「高専向け「私の遠隔授業」」 (オンライン)	阿南高専 (松本高志), 小山高専 (石原学)
令和 2 年 11 月 4 日	経済産業省「「未来の教室」中間報告会」 (オンライン)	NPO 法人東京シューレ (奥地圭子), NPO 法人 SOMA (瀬戸昌宣), 熊本大学 (苫野一徳) 他
令和 2 年 11 月 7 日	関西大学 F D フォーラム「ニューノーマルに対応した新しい授業形態の可能性」 (オンライン)	同志社大学 (山田礼子), 関西学院大学 (中野康人), 立命館大学 (蒲生諒太), 関西大学 (三浦真琴)
令和 2 年 11 月 25 日	国立大学協会第 19 回大学改革シンポジウム「大学教育の新たな姿~学生の視点に立って~」 (オンライン)	東北大学 (大野英男), 国立情報学研究所 (喜連川優), 国立大学協会 (山口宏樹) 他
令和 2 年 12 月 13 日	東京理科大学研究会「心に残る理数教育~卒業後にも色あせないもの~」 (オンライン)	東京理科大学 (秋山仁), 国際基督教大学 (北原和夫), 東京理科大学 (渡辺正) 他
令和 2 年 12 月 16 日	朝日ネット「教育の質保証・質向上オンラインセミナー」 (オンライン)	4 年間の学習成果の捉え方 — 総和と軌跡 — 京都大学 (松下佳代)
令和 2 年 12 月 21 日	山口大学大学マネジメントセミナー「大学マネジメントのためのマインドセット」 (オンライン)	関西大学 (松田優一), 筑波大学 (池田一郎), 大阪府立大学 (高橋哲也)

令和 2 年 12 月 21 日	東京工業大学教育革新シンポジウム 「COVI-19 インパクトは大学教育の未来を 変える」 (オンライン)	東京大学 (池田めぐみ), 広尾学園 (金子暁), 北星学園大学 (金子大 輔), 東京工業大学 (大久保智哉), 東京工業大学 (大浦弘樹)
令和 3 年 1 月 19 日	京都大学セミナー「教育データの利活用に よる教育変革」 (オンライン)	京都大学 (緒方広明), 京都市立西京 高校 (宮部剛), 京都大学 (久富 望), 九州大学 (山田政寛)
令和 3 年 1 月 29 日	立命館大学シンポジウム「新常態における 高等教育の展望」 (オンライン)	オーストラリア・メルボルン大学 (Kerri-Lee Krause), 元国立教育政 策研究所 (常盤豊), 法政大学 (川上 忠重), 立命館大学 (沖裕貴)
令和 3 年 2 月 7 日	東京大学セミナー「主体的・探究的な学び の体験がもたらす高大接続・社会への貢 献」 (オンライン)	東京大学 (上野雄己, 岡田謙介, 植阪 友理, 山本義春) 他
令和 3 年 2 月 16 日	CAUA シンポジウム 2020「学生の成績 評価と教育の質保証」 (オンライン)	早稲田大学 (深澤良彰), 京都大学 (緒方広明), 公立千歳科学技術大学 (小松川浩)
令和 3 年 2 月 20 日, 21 日, 27 日, 28 日	大学コンソーシアム京都大 26 回 FD フォー ラム「あらためて大学とはなにか〜コロナ 禍を超えて新しい時代へ」 (オンライン)	2/20 シンポジウム, ポスターセッション, 2/21, 2/27, 2/28 第 1~11 分科会
令和 3 年 3 月 3 日	山口大学全学 FSDS 講演会「教学マネジメ ントについて考える」 (オンライン)	山形大学 (浅野茂), 山梨大学 (埴雅 典), 山口大学 (松野浩嗣), 山口大 学 (林透)
令和 3 年 3 月 6 日	大学教育改革フォーラム in 東海 2021 (オ ンライン)	基調講演: 東京大学 (両角亜希子) ポスター発表, 分科会 1~7
令和 3 年 3 月 18 日	広島大学海外高大接続シンポジウム「国際 バカロレア入試と高等教育資格承認を巡る 課題」 (オンライン)	広島大学 (永田純一), 岡山理科大学 附属高校 (田原誠), 九州大学 (木村 拓也), 大学入試センター (花井渉) 他
令和 3 月 22 日, 23 日	IR 合同シンポジウム「学生の学びと IR」 (オンライン)	大阪大学 (村上正行), 北海道大学 (細川敏幸), 大学 IR 総研 (東山高 久), 大正大学 (日下部岳史)

まとめ

令和2年度は、コロナ禍の影響により、「ニューノーマル」な学生の学びの在り方について考える年となりました。前期授業をオンラインで実施し、オンデマンド型授業やリアルタイム型授業を展開しました。文部科学省の指示もあり、後期からは面接授業に戻る結果とはなりましたが、英語の授業にオンライン英会話を導入したり、モンゴル高専やフィリピンの語学学校との交流もオンラインで実施するなど、新しい取り組みも始めました。現在でも大学等では遠隔授業を実施せざるをえない状態が続いており、本校でも、今後の状況次第では、また遠隔授業を実施する事態になる可能性も十分あります。令和2年度に得られた課題を解決し、蓄積した知見を活かしながら、社会的に困難な状況にも対応できる授業形態（例えば、ハイブリッド型やハイフレックス型の授業）についても模索していかなければなりません。

FD/SD も同様で、内容や形態も大きな変容を求められ、一年を通じて、オンライン授業実施に関する大小様々なFDやミーティングを行いました。年度末には「徳山高専は1年間でこれだけICTを活用できるようになった」と銘打って、本校でのオンライン授業やICTを活用した行事などの成果を共有する場を持つことができました。

また、前年度行った「近未来KOSEN」および「KOSEN再興戦略」で出された学生側の意見に対する学校側の回答を開示し、全学生からもそれらの意見・回答へのさらなる意見も集めるとともに、具体的解決を話し合うため教員と学生との2回の「談ラン会」を開催しました。この取組に対しては、教員・学生ともに関心が高く、教育改善に関する学生参加の新しい形でのFDとして、来年度も実施して行くつもりです。

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大状況を考えると、まだまだ油断できない状況ではあります。在宅勤務による業務遂行を含め、教職員の新しい働き方についても考える時が来たものと思います。今後もFD/SDをより計画的・組織的に、また目的意識をもって進め、学生のみならず教職員も自律的に学び続ける環境づくりに努めて行きたいと思います。